

# I 研究の概要

## 1 研究主題

思考力、判断力、表現力の育成  
～国語科「読むこと」を通して～

## 2 主題設定の理由

昨年度は「思考力、判断力、表現の育成」をテーマに、タブレット端末の効果的な活用を通して研究に取り組んだ。タブレットの活用については、情報を交換しながら、活用していく必要がある。また、児童が文章を読み込んで、内容を把握したり、読み取ったことを伝え合ったりして学んだことを活用していくには課題があることが分かった。どの教科においても、「読むこと」は必要な力であり、その力が十分でないと、課題を解決することには結び付いていかない。

そこで、今年度は基本である国語科の「読むこと」に焦点を当てて研究を進めることにした。読む力が定着することで、思考力、判断力、表現力の育成にもつながると考え、本研究主題を設定した。

## 3 研究の内容と方法

### (1) 目指す児童像

想像を広げて読み取ったことを伝え合う中で、自分の思いや考えを広げることができる児童

(低学年) 言葉がもつよさを感じ取り、表現することの楽しさを味わうことができる児童

(中学年) 一つ一つの言葉に注目して読み、根拠となる文章から自分の考えをもち、伝え合うことの楽しさを味わえる児童

(高学年) 叙述を基に想像したことを伝え合う中で、自分の考えを広げたり深めたりする児童

### (2) 身に付けさせたい力

「思考力、判断力、表現力等」とは、「知識及び技能」を活用して課題を解決するために必要な力と規定されている。(学校教育法第30条第2項)

そこで、児童に身に付けさせたい「思考力、判断力、表現力」を以下のように考えた。

① 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力

→「選ぶ、分ける、比べる、つなげる、活用する、伝える」

② 新たな意味や価値を創造する力

→「分かった、こう思う、こういう考え方もある」

- ③ 受け手の状況を踏まえて発信する力  
→「相手意識・目的意識をもって伝え合う」
- ④ 自らの情報活用を評価・改善する力  
→「振り返る，修正する，次に生かす」

### (3) 研究の視点

文献と本校の実態を基に，思考力，判断力，表現力を育成するために必要なことを以下のように考えた。

- ① 問題解決的な単元構想
- ② 国語科「読むこと」の授業改善

### (4) 手だて



#### 〈具体的な手立て〉

- ・ 必然性のある課題づくり
- ・ 情報活用（資料，既習事項，生活経験，友達の考え）の工夫
- ・ 全体構成図や学習内容の積み重ねなどの可視化
- ・ 明確な目的を持った言語活動（思考する話し合いやかかわり合いの場）
- ・ 次の学習につながる振り返りの充実